

# (公財)神戸大学六甲台後援会だより

(68)

## 令和3年度の事業の進捗状況とロイ・スミス館の近況

コロナ・ウイルスがまん延をはじめて2年余りの間に第1波から第5波の流行の波が続き、昨年12月には第5波のピークも過ぎて収束に向かうように思われましたが、年末から年始にかけて新たな変異株であるオミクロン株の流行が始まり、1月中旬には連日過去最大の感染者数更新が発表される状況になってきました。

このような状況の中で、(公財)神戸大学六甲台後援会の令和3年度事業計画(「凌霜」430号に掲載)は停滞することなく可能な限り実施に移してきましたが、大きく影響を受けましたのは教員海外派遣支援事業と学会・シンポジウム等開催支援並びに学生(大学院生を含む)の海外派遣支援事業でした。また、ロイ・スミス館は六甲台の5部局が外国から招聘する講師や研究員のための学術交流施設としての役割も持っていますが、コロナ・ウイルスまん延の影響により、この役割が全くと言っていいほど果たせなかったことです。

令和4年度についても、利用の予約を受け付けていますが、流行の収束による外国人の入国規制の緩和が実施されない限り利用の回復は難しいのではないかと思われれます。

在学生対象にロイ・スミス館見学会を開催しました

令和3年12月5日(日)、(一社)凌霜会と(公財)神戸大学六甲台後援会の共催で、凌霜会の準会員である在学生を対象に「ロイ・スミス館を訪ねよう」という企画を実施しました。

「ロイ・スミス館」の1階は後援会の事務所になっていますが、2階は神戸大学社会科学系5部局が外国から招聘する研究者と講師のための宿舎として利用できるようになっています。このため、原則非公開とさせていただいていますが、在学生に対して後援会の活動内容を広報することも後援会活動の一環であるとの観点から、凌霜会からの申し出をお受けすることにしました。当日参加してくれたのは、法学部の1年生4名と経済学部の1年生1名の5名でした。

それぞれ自己紹介の後、後援会から財団の性格と設立から今日までの経緯、凌霜会と後援会との繋がり、後援会の事業内容並びにロイ・スミス館の歴史等について説明を行った後、館内の見学を実施しました。

学生は、日ごろ目にすることの殆どない、昭和初期の洋館の構造、ステンドグラスの見事さ、和室のしつらえなどに興味を惹かれるとともに、2階の寝室や浴室などに外国人向けの最新仕様の設備が配置されていることに驚いた様子でした。

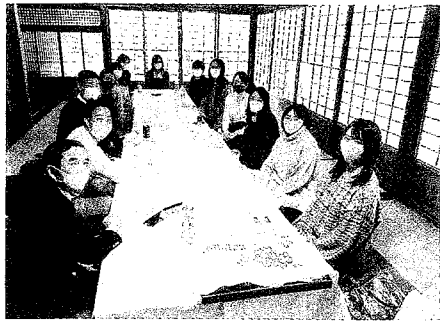
見学を終えた後、コロナまん延下における学生生活の実情や授業の感想、将来への希望、凌霜会と後援会



に対する要望などについて忌憚のない意見交換会を行いました。後援会からは先輩や同級生にもロイ・スミス館と後援会を広報してくれるように依頼し、見学会は好評のうちに終了しました。

吉井ゼミがロイ・スミス館和室で実施されました

吉井ゼミ（経済学部）の4年生12名への講義が1月24日（月）午後ロイ・スミス館和室で行われました。この場所で講義が行われるのは経営学部の鈴木先生が約4年前の秋に行つて以来です。



学生諸君は慣れない和室での講義に戸惑つたとは思いますが、講義を熱心に聞いていました。講義が終わつた後、吉井先生から六甲台後援会の成り立ちや事業内容等についての説明を受け、吉井先生の案内で館内や庭を見学して回りました。今後六甲台5部局の授業等での利用や凌霄会会員の集まりでの利用の要望がありましたら、事前にお申し出頂ければ支障のない限り、ご要望にお応えしたいと思います。

いつも皆様のご寄附誠にありがとうございます

前号でご報告させていただいた以降、2月9日現在でのご報告となりますが、多くの皆様からご寄附をいただいております。誠にありがとうございます。

金額別に老田 茂様（昭30経営）3千円、多田 葵様（平27法）、岩佐良明様（昭48経営）、北林孝雄様（昭48経営）、木村正則様（昭50経営）、藤原達也様（昭38経営）、白神 雄様（昭48法）、高橋宣光様（昭40法）、太田義人様（昭51経営）各1万円、飯田 実様（昭53法）、中埜晶夫様（昭51経営）各2万円、上月秀夫様（昭32経営）、片桐 陽様（昭40経営）、川上義顕様（昭54法）、米川 毅様（昭35経営）各3万円、水島 昇様（昭51法）、正司健一様（昭52経営）、丹羽 徹様（昭38経営）、中尾 巧様（神戸大学学外理事）、鶴 浩一様（昭32経営）、森安陸夫様（昭31経営）各5万円、稲垣 滋様（昭45経営）、木村壽彦様（昭46法）、藤原利成様（令2経営）、茂木 孟様（昭34経営）各10万円、立脇和夫様（昭34経営Ⅱ）120万円をご寄附いただきました。お陰様で、令和3年4月以降の寄附金額は866万7千500円になりました。厚くお礼申し上げます。

毎回お願いしています寄附金の送り先は左記のとおりです。また、本財団ホームページからもご寄附（クレジットカードによるご寄附、インターネットバンキングによるご寄附等）いただけますのでご利用ください。よろしくお願い申し上げます。

◎銀行送金の場合（メール・電話・FAXでも結構ですから、送金のことについて事務局にご一報ください）

銀行名 三井住友銀行六甲支店

口座番号 普通預金 4069496

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

◎郵便振替の場合（通信欄に卒業年次と出身学部をご記入ください）

口座番号 0098019116772

口座名義 公益財団法人神戸大学六甲台後援会

専用の郵便払込取扱票により、郵便局の窓口からお振り込み  
いただく場合は、手数料はかかりませんが、郵便局の  
制度変更により令和4年1月17日からのご寄附は、現金でご  
寄附される場合は、加算料金110円が必要となりました。  
なお、ゆうちょ銀行の通帳（払戻し請求書が必要）またはキ  
ャッシュカードご利用の場合は、加算料金はかかりません。  
詳しいことは、郵便局の窓口にてお尋ねください。

◎本財団ホームページからのご寄附

ホームページ「ご寄附」のWEB申込みフォームからご寄附  
いただけます。 <http://www.rokkodafund.com>

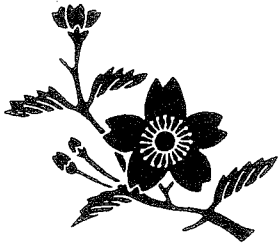
〒657-0068

神戸市灘区篠原北町4-11-5

公益財団法人神戸大学六甲台後援会事務局

電話・FAX (078) 861-3013

E-mail: [koenkai@rokkodafund.com](mailto:koenkai@rokkodafund.com)



神戸法學雜誌 第71巻 第2号 (2021年9月)  
研 究

日本における気候訴訟の法的論点  
——神戸石炭火力訴訟を例として——

島村 健・杉田峻介・池田直樹  
浅岡美恵・和田重太

行政調査に対する実体的制約と手続的制約

——米国行政調査の基本的思考(三・完)………中尾祐人  
中国の実務における正当防衛論の動向【査読付】………劉道賢

翻 訳

「不法行為と差別」………ローネン・アブラハム／キンバリー・ユラッコ 著  
角松生史・饗庭未希子・尾下悠希 翻訳

注 釈

J.L.オースティン『言語と行為』第一講 注釈………蓮沼啓介